



二子玉川エリアマネジメンツ

二子玉川エリアマネジメンツ

まちづくりビジョン

Futakotamagawa
VISION 2050

多摩川を活かし次世代を「はぐくむ」未来地図

フタコではじめるカワいいまちづくり



Futakotamagawa VISION 2050

多摩川を活かし次世代を「はぐくむ」未来地図

フタコではじめるカッコいいまちづくり

これからの二子玉川は、まちに関わるみなさんが手を取りあい、「自分の好きを試したい」「誰かを喜ばせたい」そんな個々の想いを実現することが、未来の風景をつくります。大人が本気で遊び、挑戦する姿を、子どもたちへ。これからの二子玉川を一緒につくりませんか。

二子玉川エリアマネジメント



まちづくりビジョンの 基本的な考え方

このビジョンは 2015 年に玉川町会・二子玉川 100 年懇話会が策定した「二子玉川 100 年の未来ブック」をベースにしています。

二子玉川エリアマネジメントでは、100 年の未来ブックに掲載されている 5 つの基本方針から、2050 年に向けて、優先的に取り組むべき 4 つの将来像を検討し、ビジョンとしてまとめました。



本編は Web ページで
閲覧いただけます



ビジョンの背景 | さらなる「ソフト（活動・コミュニティ）」の飛躍へ

二子玉川のまちは、これまで培われてきた自然豊かな多摩川の水辺空間や国分寺崖線の緑と、洗練された都市機能が共存し、多くの人々にとって憧れのまちになっています。一方で、二子玉川ライズのオープンから概ね 15 年が経過し、これからも水辺空間や、小規模な不動産の緩やかな更新は予想されるものの、計画されている大幅なハード整備は一段落した状況です。

まちの真価が問われるのはここからであり、成熟による停滞を避け、これからの社会課題に対応し続けるためには、今後も必要なハード整備を行いつつ、整備された空間や資源を使いこなし、豊かな時間を創出する「ソフト（活動・コミュニティ）」中心のまちづくりが更に重要になります。

ビジョンの目的 | 2050 年の未来への「羅針盤」と「仲間づくり」

二子玉川エリアマネジメントは、公共空間の利活用や、エリア価値の維持・向上を目指して、二子玉川というまちに継続的に関わってきました。

本ビジョンは、そうした活動の延長線上で、「どのような価値を守りたいのか」「どのような方向を目指していくのか」を明確にし、ともに二子玉川の未来をつくっていく仲間やパートナーを増やしていくことを目的とし、関係者や次世代と推進するための中長期的な指針として策定しています。

二子玉川のまちの価値とターゲット

二子玉川がこれから先も選ばれ続けるまちであるためには、他のまちにはない二子玉川の個性を明確に示し、限られたリソースをどこに投資するかを決めていくことが必要だと私たちは考えています。

2050 年も変わらない 普遍的な価値

圧倒的な自然とハイグレードな都市が
心地よい距離感で共存する環境



眼前に広がる一級河川の多摩川や国分寺崖線の圧倒的な自然と、洗練されたハイグレードな都市が心地よい距離感で共存する環境こそが、感性豊かなライフスタイルと創造的なワークスタイルを生み出す揺るぎない土壌であること。

これから創造していく、 投資していく価値

小さなチャレンジを応援しながら
挑戦と成長のストーリーをデザインする



スモールスタートでもはじめられるまちの「新たな余白」や、チャレンジを応援するまちの寛容性を活かしながら、個人の小さな「想い」が二子玉川から世界へ羽ばたくような、挑戦と成長の物語（ストーリー）をデザインすること。

力を入れていくべき ターゲット

未来を担う子どもたち &
中高生や大学生も含めた次世代



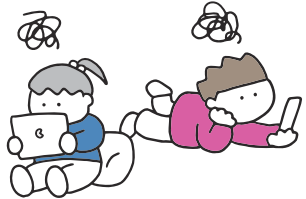
子どもたちにやさしいまちは、高齢者や障がいのある方たちにもやさしいまちであるという考えのもと、まずは、未来を担う子どもたちが、本物の自然と都市文化に触れて育つ場所となるよう、子育て世代に選ばれるまちを目指す。加えて、中高生や大学生も含めた次世代の感性と挑戦意欲を後押しすることを目指す。

二子玉川からはじまる成長のストーリー

二子玉川の価値をまもり、育んだ先に、二子玉川のまちを舞台にこんな人生の物語が生まれるとうれしい。
そんな私たちの想いを成長のストーリーとして2つ紹介します。

CASE_01 子どもの想像力を育む環境が世界へ羽ばたく子どもを育てる物語

便利なツールが増えていき、
それらに頼りきりな子ども
に育ってしまうのも心配・・・



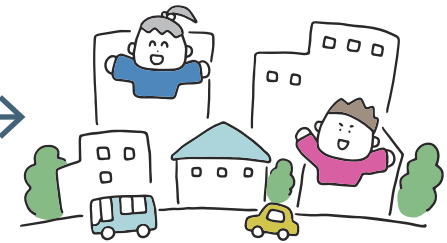
多摩川のローカルな環境と都市
の最先端の環境を有効活用した
教育や体験を重ねる



スポーツやクリエイティブ分野で
世界で活躍する子どもたちが
生まれる

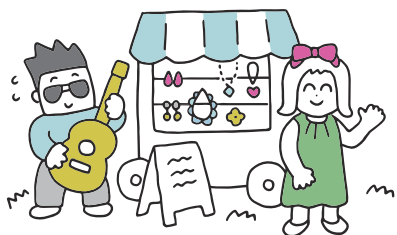


まちに愛着を持って、自分のふる
さとだと思えるような二子玉川に
なってほしい

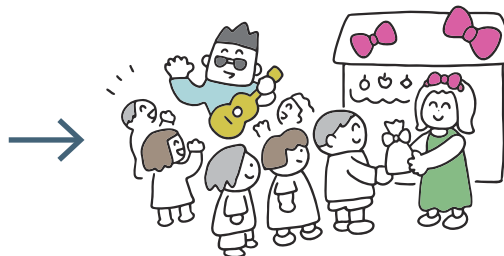


CASE_02 多摩川で行われたチャレンジが世界的なビジネスに広がる物語

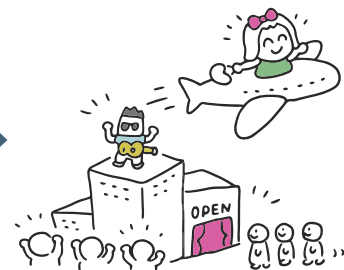
自分ゴトでやってみたいことを
まずは河川敷からスタート



柳小路や商店街に展開して地域の
ファンも広がり応援される基盤が
つくられる



駅前の商業施設に進出して、
世界を舞台に活躍して名が
轟く



創業者インタビューで二子玉川の
サクセスストーリーを語ってもら
いたい



目指すべき
将来像

01

多摩川と都市がシームレスにつながり 唯一無二の体験ができるまち

子どもの川あそびデビューはココ！が広く認知され、
子どもから大人まで本気で遊べる空間になっている

公共空間を活用したチャレンジ文化を
広げる役割を担っている

新しい技術の
トライアル

シャボン玉

アウトドアオフィス

ペットとも遊べる

多様なスポーツを
河川敷で楽しむ

流域への
移動手段も充実

橋脚の活用

キッチンカー

かわあそび

多摩川で
ジップライン

SUP

カヌー

多摩川を中心に、流域のまちや都市がシームレスにつながり、遊びや学び、働くことができるまち。
ここでしか味わえない体験と豊かな時間が循環する日常を目指します。

河川敷の居心地と利便性を高める施設が隣接し、快適に長く過ごすことができる



備品の貸し出し



ロッカー
シャワー

多摩川と都市をつなぐクロスポイントに、自然と都市の過ごし方を切り替えられるスイッチング機能がある

インフォメーション



お揃いの
ライフジャケット

最新技術を活用して、まち全体の空気や水などのデータが可視化され、良好な環境が保たれている



多摩川を軸に流域のまちや自然と円滑につながり、自由に移動ができる



流域の羽田空港ともつながる

目指すべき
将来像

02

多摩川と玉川高校跡地を拠点とした 子どもの創造性を育むクリエイティブなまち

多摩川沿いの公園同士が一体となって「リバーパーク」となり、河川敷ならではの独自のアート・文化・産業が展開され日常的な体験と刺激に溢れている

河川敷でのリアルな川遊び体験教育と、隣接する都市での先端教育が融合し、子どもにとっての「身近な自然体験教育の聖地」として認知されている

刺激的な自然体験

ローカルな自然体験

リアルな現場での
自然教育

アーバンスポーツ

最先端の教育

FUTAKO
TAMAGAWA

玉川高校跡地を、未来を担う次世代の子どもたちとクリエイターが交わる創造の拠点へ。
自由な発想を形にしながら、次世代の感性と創造性が爆発するまちを目指します。

子ども・中高生とクリエイターが集まる
総合的なコミュニティの拠点施設ができている



町会会館を
中高生のスペースに

アーティストやクリエイターが集まり、
彼らのアウトプットが次世代の創造力を高めている

アーティストやクリエイターの
作品に溢れている

誰もが未来を語るアイデアを出せる、
刺激を受けられる「アイデアハウス」がある

近隣大学と連携した
子どもたちとの共同開発

創作活動

期間ごとの情報発信

ワークショップ

ライブラリー

カフェで
くつろぐ

屋上の農体験

先端技術を体験

室内スポーツ

魅力ある商業による賑わいが続き、 心地よいコミュニティが育まれるまち

住宅や店舗が常に人気でいつまでも
選ばれ続ける魅力と賑わいがある



こだわりに溢れた
「ここにしかないお店」が充実している

まちなかにおしゃれなベンチがあり、
歩いて楽しめる街並みやしかけが充実している



タブレットでの
注文と宅配

座れるしかけ

まちなかで盆踊り

商業の賑わいと、顔の見える温かなコミュニティが共存するまち。消費するだけでなく、人と人が「ゆるく」つながり、誰もが自分らしく関われる居場所がある、心地よいまちを目指します。

助け合いをベースにした人との関わりが
仕組みつくり可視化されている

地域コミュニティはゆるく心地よく、
関わり方を選択できる

世代間のコミュニケーションが豊かで
誰にでも心地の良い居場所がある

学校施設が地域に解放され、
コミュニティの場として活用されている

地域の人たちが訪れるお祭り

どこでもまちの情報が
得られる

家庭科室で料理教室

ハートのアイコンが
たくさん

体育館や校庭で地域の人が
スポーツを楽しむ

ウォーカブルな
生活動線

チョークの落書き

街路灯のスマートボール化

ダイナミックな基盤整備に伴い、 移動環境・情報インフラが充実するまち

国道 246 号のペDESTリアンデッキ整備が進み、
チャレンジできるまちの余白として有効に活用されている

映画・アニメ・VR など様々な映像技術の
舞台として使われている

駅を中心にバーチャルで
まちの情報が得られる

パフォーマンス
スペース

チャレンジ屋台

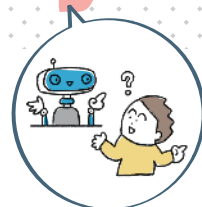
新しい技術の体験

改札前の
インフォメーション

駅前で盆踊り

多摩川改札

高架下の活用



駅周辺をダイナミックに再編し、空へ広がるデッキや次世代モビリティ網を整備。リアルとデジタルが融合した情報基盤と共に、誰もが安全かつ自由に移動できる、未来基準の快適な都市インフラの実現を目指します。

最新のデバイスと連携したパーソナルモビリティが充実し、地形を気にせず自由に移動ができる

モビリティハブによるアクセス向上

駅を中心として連続する空中回廊で、歩行者が円滑に周辺のまちや自然にアクセスできる

震災や浸水被害に備えるため、基盤整備による動線が整備され、安全に避難ができる

防災拠点

モビリティパーク

ミニSL

二子玉川の賑わいアクション

二子玉川には、地域行事や企業主催のイベント、個人の方が自主的に実施している活動までたくさんのアクションがあります。二子玉川のまちを知り、楽しむ機会として、まずは気軽に参加してみることからはじめてみてはいかがでしょうか。





スケートガーデン



二子玉川カヌー部



11月



毎月



たまがわ BOOK フリマ

あなたの
一冊に
会える
かも



しほせ
届けます

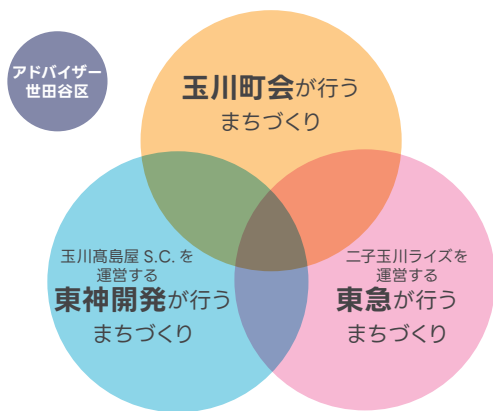
シャボン玉オヤジ

このビジョンをつくった 二子玉川エリアマネジメンツって？

2015年4月に発足した二子玉川エリアにおける持続的なまちづくり活動を進めるエリアマネジメント団体です。

構成会員は、玉川町会、東神開発株式会社、東急株式会社の3社。世田谷区がアドバイザーとして参画し、官民連携のまちづくりを推進してきました。

これまで二子玉川で行われてきた活動や行事、歴史のほか自然など地域の資源を最大限に活用したまちづくりに取り組みます。事業で得られた収益は、二子玉川エリアのまちづくり活動へ還元しています。



3つが重なり合う部分が、二子玉川エリアマネジメンツで行うまちづくりです

河川敷利活用

一級河川である多摩川河川敷を舞台に、豊かな自然と暮らしを融合した賑わい創出の取組を行っています。

兵庫島公園

Mizube Fun Base (ミズベファンベース)



キッチンカー

スペースレンタル

世田谷区策定の「都市再生整備計画（二子玉川駅周辺地区）」に基づき、兵庫島公園内の一部区画をミズベファンベース／Mizube(水辺)Fun(楽しいこと)Base(基地・拠点)と名付け運営。人々が交流・憩親し、新しい暮らし方と働き方を生み出す場として活用しています。



TAMAGAWA BREW



Futako Tamagawa Light It Blue Park

二子玉川公園前河川敷

二子玉川ネイチャーズデイ



多摩川の自然を舞台に人と人、地域と自然がつながることを目的とした体験型イベント。二子玉川エリアに出店している複数のアウトドアブランド企業と連携し、焚火やアップサイクル、水辺の生き物観察、ランニングなど多彩なコンテンツを通じて、自然を楽しむ学び合う機会を創出しています。



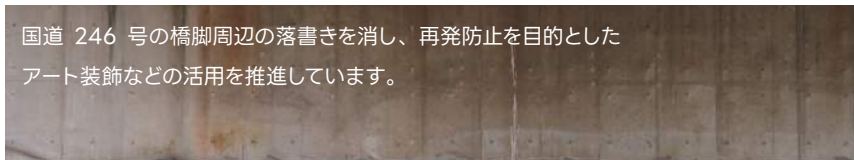
二子玉川アクティブチャレンジデイ

かわのまちアクション（公益還元）

二子玉川の自然資産である多摩川と水辺環境の保全および安全利用啓発につながる活動を「かわのまちアクション」と名付け、地域有志の協力を得ながら除草・清掃や美化活動を継続的に実施しています。

橋脚清掃（落書き消しと壁面の活用）

国道 246 号の橋脚周辺の落書きを消し、再発防止を目的としたアート装飾などの活用を推進しています。



マルタウグイ産卵環境づくり



野川ベースの清掃・整備



FUTAKO CINEMA NIGHT

その他の活動

多摩川河川敷を主軸とした活動のほかにも、まちの情報発信や交流拠点の運営、まちなかの道路を活用したアクション、収益事業としてのエリアマネジメント広告などを行っています。

Futako Fun Base（フタコファンベース）

Futako Fun Base は、二子玉川エリアマネジメントが運営する情報発信・交流拠点です。



エリアマネジメント広告



シンポジウム



二子玉川まちみちテラス



街情報プロジェクト

まちづくりビジョンの位置付け

Q このビジョンは誰がつくったの？

A 二子玉川エリアマネジメントが策定しました

本ビジョンは、二子玉川エリアマネジメント協議会と都市再生推進法人である一般社団法人二子玉川エリアマネジメントが策定したまちの未来について考えたビジョンです。二子玉川というまち全体の総意や、特定の立場（行政・住民・企業）の意思を取りまとめたものではありません。

一方で、二子玉川というまちに継続的に関わり、公共空間やエリア価値の維持・向上を担う立場として、これからの二子玉川のあり方に対する考え方と姿勢を明確に示すものです。

Q このビジョンは誰に向けてつくったもの？

A これからの二子玉川のまちづくりに関心を持つ
様々な方に手にとりいただけると幸いです

本ビジョンは、二子玉川のまちづくりに関心を持つ、

地域の方々 **まちの将来の担い手になりそうな次世代の方々**

これから関わろうとするの方々 **企業** **行政** など

に向けて、二子玉川エリアマネジメントとしての考え方を共有することを目的としています。

また、すでに関わっているの方々だけでなく、本ビジョンをきっかけに新たに関心を持ち、関わりを持とうとする人々との接点をつくることも意図しています。

まちづくりビジョン策定のプロセス

本ビジョンは、二子玉川エリアマネジメント協議会におけるワークショップ形式の検討を中心に、協議委員の想いを集約する形でとりまとめています。

第1回 | 仮想のライバル都市と比較して二子玉川の唯一無二の価値を見出そう

[グループワーク]

- ① まちの課題とポテンシャルの整理
- ② 仮想のライバル都市をつくる
- ③ シール投票での優先順位づけ
- ④ 唯一無二の価値とは？

--- 発表・共有 ---



第2回 | 二子玉川の唯一無二の価値を確認してまちの将来像を描こう

[グループワーク]

- ① 二子玉川の唯一無二の価値の確認
- ② 2050年の二子玉川の将来像を描く
- ③ シール投票での優先順位づけ
- ④ 将来像を実現するアクションのアイデア

--- 発表・共有 ---



Q このビジョンは何に使うの？

A これからまちの人たちとの対話を生み出す
ツールとして活用していきます

本ビジョンは、完成された答えを示すためのものではありません。
二子玉川エリアマネジメントとしての考え方や問題意識を明らかにし、

問い（価値観／課題／将来の姿）を共有する

対話を生み出す 共感を起点に新たな関係性を育てる

新たなアクションを生み出す

ための出発点として位置づけています。

本ビジョンを通じて、多様な意見や視点が交わされ、二子玉川の未来に向けた議論や取り組みがより立体的に、そして継続的に広がっていくことを期待しています。

Q なぜ 2050 年の将来像？

A ビジョンの策定から 2050 年までに
実現したい想いをまとめました

私たち二子玉川エリアマネジメントが、少し先の未来を想像しながら検討していく過程で、本ビジョンの策定から 2050 年までの期間で実現したい将来像を描いたものです。

子どもたちが大人へ、大人がシニアへとライフステージが移り変わる期間を、リアリティを持って自分ごととして考えられるようにしたものです。

不確実な未来を正確に予測することはできませんが、先が見えないからこそ、現時点での考えや方向性を示し、対話をはじめること自体が重要であるという認識のもと、整理を行っています。

第3回 | 二子玉川の将来像を確認して、まちのアクションを出し合おう

[全体での意見交換]

①二子玉川の将来像の確認と追加

[グループワーク]

②将来像を実現するためのアクション

③シール投票での優先順位づけ

--- 発表・共有 ---



協議会メンバーでは足りない属性へのグループインタビュー | 4件

[対象]

子育て世代、企業、大学生、高校生

[テーマ]

①二子玉川の宝さがし

②理想的な二子玉川の未来の姿

③未来の姿を実現するはじめての歩



Join us!

2026年から ビジョンの実現に向けた アクションがスタート!

ビジョンに描かれた4つの将来像。

すぐに実現できるものではないけれど、一歩ずつできるところから、
理想の未来に向けてアクションを進めていきます。

ビジョンの内容に関心を持ってくれた方、アイデアやヒントをお持ちの方、
一緒に第一歩を踏み出してみたい方など、お気軽に事務局までお問い合わせください。
また、取組全体や本書に関するご意見、ご感想もお待ちしています。

お問い合わせ先（運営事務局）

一般社団法人二子玉川エリアマネジメント
〒158-0094 世田谷区玉川一丁目14番1号
E-mail : info@futako.org

定期的に活動も発信しています!



HP



Facebook



Instagram

フタコファンサポートの ご案内

2023年に新たにスタートした、二子玉川地域において、まちの活性化や魅力向上など、公益に資する活動を行う団体を資金面で支援するプログラムです。

これから新たに活動をはじめたい方や、現在の活動の負担軽減を図りたい方は、年1回の募集期間にぜひご応募ください。

<採択プロジェクトの例>



たまがわおどりたい（隊）



神様と海と森の教室